

研究通信

No. 20

1956年10月刊

村落社会研究会
編集部

仙台市片平丁：
東北大学教育
学部研究室内

本年度（第4回）大会予告

第4回大会のお知らせ

既報のように、来る十月廿五日、我々の本年度大会が、東京において開かれます。今年の共同課題は、去年の大阪大会と同テーマを継続、さらに深く追求しようとするものであります。新しい研究報告者三氏の発表を午前中に行い、午後は去年の報告者の一人小池基之氏司会のもとに活潑な討議を展開できるように充分な時間をこれにあてました。

プログラムは次の如くであります。

日 時 昭和卅一年十月廿五日（木曜日）

午前九時より

場所 毎日新聞社東京本社講堂

（国鉄有楽町下車、すぐそば）
毎日新聞社人口問題調査会

後 援 「農家人口の変動と家族の構造」
研究報告

午前部 積善地方における農家人口の変動と家族の構造（新潟大学長岡分校） 中野芳彦

報告一 瀬戸内海島村における人口移動
— 香川県仲多度郡高見島の実態 —
（東京教育大学農学部） 竜野四郎

報告二 村と人口現象
— 福井県石徹白村の場合 —
（日本農業研究所） 西村甲一

報告三 午後部 共同討議

司会者 小池 基之

協議会・懇談会（夕食）

午後八時頃解散予定。



何卒、万障くりあわせの上御参加のほどを期待します。

なお、同封の「ガキ」にて折返し参加の有無を御知らせ下さい。これを名簿訂正の資料にもあてたいと存じますので、

参加の有無にかかわらず是非御回報下さるよう重ねて御願ひ致します。